# 2X RAS 導入マニュアル (事前準備 編)

2015年7月

2X RAS 導入マニュアル(事前準備編) T4U 株式会社

目次

1.	はじめに	
2.	2X サーバーのインストール前準備	2
З.	Windowsの設定	.8

# 1. はじめに

### 2X サーバーのシステム要件

- **o** このマニュアルは 2X RAS v14.1 の導入をベースに記載しています。
- 本書は Microsoft Windows Server 2012 R2 をベースに記載しています。
- リモートデスクトップサービスが稼動している Microsoft Windows Server 2008 R2/2012 R2
- **○** マイクロソフト規定のハードウェア要件が必要となります。

## 2. 2X RAS のインストール前準備

- 2-1. リモートデスクトップサービスのインストール
   2X サーバーはリモートデスクトップサービスが稼働している端末のみで動作します。
   そのため、リモートデスクトップサービスのインストールが必要です。
   リモートデスクトップサービスをインストールする方法は次の通りです。
  - [スタート] → [管理ツール] → [サーバーマネージャー] をクリックし、「サ ーバーマネージャー」を開きます。
    - トー・マネージャー・ダリンエボード・②」「 取取(M) ターム(T) 数系(M) ヘムズ(

       マーパー マネージャー・ダリンエボード・③」「 取取(M) ターム(T) 数系(M) ヘムズ(

       マーパー・マネージャーへようこそ

       マーパー・マネージャーへようこそ

       ローパー・マネージャーへようこそ

       ローパー・マネージャーへようこそ

       ローパー・マネージャーへようこそ

       ローパー・マネージャーへようこそ

       ローパー・マネージャーへようこそ

       ローパー・マネージャーへようこそ

       ローパー・マネージャーへようこそ

       ローパー・マネージャーへようこそ

       ローパー・マネージャーへはうこ

       ローパー・マネージャーへはうこ

       ローパー・マネージャーへは、サーパーの構成

       国際(限(M)
       国際(限(M)

       目前の第二の作成
       5 このサーバーをクラウドサービスに接続

       再数第二(1)
       再数第二
  - ② 「サーバーマネージャー」内にある「役割と機能の追加」をクリックします。

③ 「役割と機能の追加ウィザード」の画面が表示されます。「開始する前に」の内 容を確認しましたら『次へ』をクリックします。



④ 「インストールの種類」画面で「リモートデスクトップサービスのインストール」を選択します。



⑤ 「展開の種類を選択」画面で展開方法を選択し、『次へ』をクリックします。

Ъ.	役割と機能の追加ウィザード	_ 🗆 X
展開の種類の選択	サーバーが	対象サーバー 選択されていません
開始する前に インストールの種類 展開の種類	リモート デスクトップ サービスは、複数のサーバーまたは 1 台のサーバーに構成できます。 ○ 極重の展開(5) 種集の展開(5)	
展開シチリオ サーバーの選択 仮想デスクトップ うした 確認	④ クイックスタート(Q) クイックスタートでは、1 400サーバーにフモート デスクトップ サービスを展開できます。また、コレクシ RemoteApp プログラムが公開されます。	コンが作成され、
完了		
	<ul> <li>49° √(L)</li> <li>∞ √(L) &gt;</li> <li>∞ ∞ (L) &gt;</li> </ul>	47200

⑥ 「展開シナリオ」画面で、展開ベースを選択し『次へ』をクリックします。

ña -	役割と機能の追加ウイザード
<ul> <li>         展開シナリオの選打         開始する前に インストールの種類 展開の理想         展開シナリオ         サーバーの選択 確認         売了         ①         ①         ①         ①         ①         ①         ①         ①         ①         ①         ②         ②         ②         ②         ②         ②         ②         ③         ●         ③         ●          ●         ●</li></ul>	
	②     ③

⑦ 「サーバー選択」画面で見つかったコンピューターからサーバーを選択し、『次
 へ』をクリックします。

۳	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>D</b> X
サーバーの選択		対象サーバー クイック スタートを選択
開始する前に インストールの種類 展開の種類	クイックスタートでは、RD 接続プローカー、RD Web アクセス、および RD セッション パーにインストールします。	ホスト 役割サービスを同一サー
展開シナリオ サーバーの選択 確認		-9- LOUDIA01.LOCAL (1)
1 تر	WIN-OIPKTPULJHA.C··· 192.168.11.···	
	<	パューターが選択されました :成します。
	< 前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) >	展開(D) キャンセル

⑧ 確認画面が表示されます。内容に間違いがないことを確認しましたら、「必要に応じてターゲットサーバーを自動的に再起動する」にチェックを入れ『展開』をクリックします。

<b>B</b>	役割と機能の追加ウィザード	_		x		
<u>選択内容の確認</u>	役割と機能の追加ウィザード WBN-OBACTPULEAL インストールを完了するには、対象サーバーを再発動するの最かかのます。 次の経動サービガ、WIN-OIPACTPULEAL-Cloudia01.Jocal という名前のサーバーにインス おりまたコーか- たりまたコーか- たりまたコール・ の日 たちょう アルス していたい、名目サービスやインストールすると再名記載されます。 しつの Remote Desktop Users セキュリティ グループに追加されます。	1巻つ-パー WHN-OIPKTPULINA Coulded Lised インストールを完了するには、対象サーバーを再起動する必要があります。 次の修動サービスが、WHN-OIPKTPULINA Cloudie01.Jocal という名柄のサーバーにインストールされます。 RD Web アクセス RD Web アクレス RD Web アクセス RD Web アクセス RD Web アクセス RD Web アクセス RD Web アクセス RD Web アクモス RD Web アクセス RD Web POTA RD W				
	ビ 必要に応じてターダットサーバーを目前的に再起動する(E)	*	<del>۳</del> /2	۱Ŀ		

⑨ インストールが開始されます。

ña -	役割と機能の追	記加ウィザード	_ 🗆 X
進行状況の表示			対象サーバー WIN-OIPKTPULJHA.Cloudia01.local
開始する前に インストールの種類	リモート デスクトップ サービスの展開シナ サーバー	リオをインストールしています。 進行状況	状態
展開の種類展開シナリオ	リモート デスクトップ サービスの役割 WIN- OIPKTPULJHA.Cloudia01.local	ナービス インストールしています	実行中
サーハーの進訳 確認 <b>完了</b>	セッション コレクション WIN- OIPKTPULJHA.Cloudia01.local		保留中
	RemoteApp プログラム WIN-		保留中
	OIPKI POLINA, CIOUDIOUT.IOCAI		
		<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) >	展開(□) キャンセル

 10 インストールが終了しましたら『閉じる』ボタンをクリックしてリモートデス クトップサービスのインストールは終了です。

2	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>D</b> X
進行状況の表示		対象サーバー クイック スタートを選択
<del>π</del> 7	リモートデスクトップ サービスの展開シナリオをインストールしています。 サーバー 進行状況 リモート デスクトップ サービスの設計サービス WIN- OPKTPULJHA.Cloudle01.local セッション コルクション WIN- 成況	状態
	OPKTPUL3HA-Cloudie01.local RemoteApp プログラム WIN- OIPKTPUL3HA-Cloudie01.local 成功	
	RD Web アクセスへの提続: https://WIN-OIPKTPULJHA.Cloudia01.loca/n < 前へ(2)	dweb 開じる キャンセル

## 3. Windowsの設定

- 3-1. リモート接続を許可する設定
   ユーザーが 2X を使用してアプリケーションを利用する場合、サーバーへのリ
   モート接続を許可する設定が必要です。
  - ① [スタート] → [コントロールパネル] をクリックします。
  - ② コントロールパネルホーム画面が表示されます。『リモートの設定』をクリックします。



③ リモートタブの「このコンピューターへのリモート接続を許可する」を選択します。「ネットワークレベル認証でリモートデスクトップを実行しているコンピューターからのみ接続を許可する(推奨)」のチェックボックスのチェックを外し『適用』をクリックし、『OK』ボタンをクリックします。

	システムのプロパティ ×
E	ンピューター名 ハードウェア 詳細設定 リモート 1
	リモート アシスタンス
	□ このコンピューターへのリモート アシスタンス接続を許可する( <u>R</u> )
	詳細設定(V)
	リモート デスクトップ
	オプションを選択し、接続できるユーザーを指定してください。
	○ このコンピューターへのリモート接続を許可しない( <u>D</u> )
	● このコンピューターへのリモート接続を許可する(L)
	□ ネットワーク レベル認証でリモート デスクトップを実行しているコンピューターが
	らのみ接続を許可する (推奨)(N)
	オプションについての詳細を表示します。 ユーザーの選択(S)
	3
	<ul><li>④ OK またンセル 適用(A)</li></ul>

- 3-2. ファイアウォール設定 ユーザーが 2X を使用してアプリケーションを利用する場合、2X で使うポートが許可されている必要があります。
  - [スタート] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] →
     [Windows ファイアウォール] → 『Windows ファイアウォールの有効化または無効化』をクリック。



② 「各種類のネットワーク設定のカスタマイズ」画面が表示されます。「ドメイン ネットワークの設定」、「プライベートネットワークの設定」、「パブリックネッ トワークの設定」のすべて「Windows ファイアウォールを無効にする(推奨さ れていません)」を選択し、『OK』をクリックします。

	設定のカスタマイズ				-	x
⊚ ▼ ↑ <b>₽</b> «	Windows ファイアウォール 🕨 設定のカスタマイズ	۷	Ċ	コントロール パネルの	検索	P
各種類	のネットワーク設定のカスタマイズ					
使用する	ネットワークの種類ごとにファイアウォール設定を変更できます。					
FXYZ	いトワークの設定					
۷	<ul> <li>○ Windows ファイアウォールを有効にする</li> <li>□ 許可されたアプリの一覧にあるアプリも含め、すべての差信接続をプロッ</li> <li>□ Windows ファイアウォールが新し、ハアプリをプロックしたときに通知を受</li> </ul>	クする け取る	5			
۲	● Windows ファイアウォールを無効にする (推奨されません)	T				
プライベー	トネットワークの設定					
0	<ul> <li>Windows ファイアウォールを有効にする</li> <li>許可されたアプリの一覧にあるアプリも含め、すべての差信接続をプロッ</li> <li>Windows ファイアウォールが新しいアプリをプロックしたときに通知を受</li> </ul>	<b>クする</b> け取る	5			
۲	● Windows ファイアウォールを無効にする (推奨されません)					
לעניכא	イットワークの設定	_				
V	<ul> <li>○ Windows J74 /*Jオールを特別に9る</li> <li>○ 許可されたアプリの一覧にあるアプけら含め、すべての善信接続をブロッ</li> <li>○ Windows ファイアウォールが新しいアプリをブロックしたときに適知を受</li> </ul>	りする け取る	5			
۲	● Windows ファイアウォールを無効にする (推奨されません)	1				
			0	K キャンセル	]	

#### 注意事項

Windows ファイアウォールを有効にしたまま 2X を使用する場合は、2X が 使用するポートのみを許可して使用することも可能です。